

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 北越工業 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6364 URL <https://www.airman.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 寺尾 正義
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 上原 均 TEL (0256) 93-5571
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,030	△18.0	527	△59.2	557	△56.2	320	△62.6
2020年3月期第1四半期	9,792	10.2	1,294	13.7	1,272	1.4	857	4.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 424百万円 (△50.5%) 2020年3月期第1四半期 856百万円 (11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	10.98	—
2020年3月期第1四半期	29.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	41,330	28,468	68.6	975.12
2020年3月期	44,663	28,886	64.4	981.44

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 28,345百万円 2020年3月期 28,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	5.00	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日(2020年8月7日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	△31.4	630	△77.0	660	△76.6	450	△75.9	15.44
通期	30,000	△28.2	1,400	△73.7	1,430	△73.8	980	△72.9	33.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2020年8月7日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照下さい。また、当社は2020年3月27日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	30,165,418株	2020年3月期	30,165,418株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,096,266株	2020年3月期	857,966株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	29,189,277株	2020年3月期1Q	29,337,953株

(注) 期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式(2021年3月期1Q 298,200株、2020年3月期 319,900株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年3月期1Q 303,950株、2020年3月期1Q 289,575株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	3
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	7
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(追加情報)	8
	(セグメント情報)	9

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた政府の緊急事態宣言発令により、不要不急の外出自粛要請や移動制限などが課され、企業活動にも大きな影響を及ぼし、投資マインドは著しく縮小しました。世界経済においては、中国ではいち早く経済活動が再開され、その他各国でも感染拡大の減速に合わせて一部規制の緩和が始まりましたが、米国では引き続き感染者の拡大が続いており、先行きの不透明感は拭い切れてはいない状況です。

このような情勢のなかで当社グループは、今後の感染拡大の収束度合いによって事業環境が大きく変化することに備えて、情報収集に全力を傾け柔軟に対応できる体制の構築に努めてまいりました。また、足元では減少した受注状況に即した生産調整を実施するとともに、経費の削減に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	対前年同四半期 増減率 (%)
売上高 (百万円)	9,792	8,030	△18.0
(国内売上高) (百万円)	(6,029)	(5,326)	(△11.7)
(海外売上高) (百万円)	(3,762)	(2,703)	(△28.1)
営業利益 (百万円)	1,294	527	△59.2
経常利益 (百万円)	1,272	557	△56.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	857	320	△62.6

当社グループでは事業内容を2つのセグメントに分けており、セグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

(建設機械事業)

建設機械事業セグメントは、主にエンジンコンプレッサ、エンジン発電機、高所作業車などの事業で構成しております。

販売面では、国内は政府の緊急事態宣言発令による不要不急の外出自粛要請や移動制限などにより、営業活動の一部自粛を強いられました。また、既存の建設工事は底堅く継続されるものの、新規案件は見送られるなど製品の出荷は低迷しました。海外においては、中国で景気の底入れの兆しは見えただものの、その他各国では新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長引き経済活動が低迷し、前年同期比で減収となりました。利益面でも、製品の受注低迷に加え工場の操業調整を行った結果、前年同期比で減益となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	対前年同四半期 増減率 (%)
売上高 (百万円)	7,963	6,494	△18.5
セグメント利益 (百万円)	1,347	536	△60.2

(産業機械事業)

産業機械事業セグメントは、主にモータコンプレッサ、非常用発電機、部品、サービスなどの事業で構成しております。

販売面では、主力のモータコンプレッサは昨年来の販売促進の効果によりシェアを伸ばしたものの、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が大きく停滞したことで、販売先の投資マインドが低迷し、市場は縮小しました。発電機関連におきましても、新型コロナウイルスの影響で商談が停滞した状況が続き、前年同期比で減収となりました。利益面でも、部品、サービスは底堅く推移しましたが、製品の落ち込みと工場の操業調整の影響をカバーすることが出来ず、前年同期比で減益となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	対前年同四半期 増減率 (%)
売上高 (百万円)	1,828	1,536	△16.0
セグメント利益 (百万円)	300	227	△24.4

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ3,332百万円減少し、41,330百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が減少したこと及び債権の回収により受取手形及び売掛金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3,185百万円減少し、27,989百万円となりました。

固定資産につきましては、減価償却により有形固定資産が減少したこと及び時価の上昇により投資有価証券が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ147百万円減少し、13,341百万円となりました。

流動負債につきましては、納税により未払法人税等が減少したこと及び有形固定資産に係る未払債務の支払いによりその他が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,742百万円減少し、9,449百万円となりました。

固定負債につきましては、流動負債への振替により長期借入金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ172百万円減少し、3,412百万円となりました。

純資産につきましては、配当により利益剰余金が減少したこと及び市場買付により自己株式が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ418百万円減少し、28,468百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.2ポイント増加し、68.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を合理的に算定することが困難であったため、2020年5月21日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりましたが、5月の緊急事態宣言解除等により経済活動再開の動きが見えてきたことから、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を公表することといたしました。

詳細は、本日(2020年8月7日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

2 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,003,030	10,152,737
受取手形及び売掛金	14,388,380	12,363,590
商品及び製品	3,955,818	3,969,002
仕掛品	155,208	192,354
原材料及び貯蔵品	1,085,425	1,077,152
その他	587,584	234,926
貸倒引当金	△591	△492
流動資産合計	31,174,857	27,989,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,172,989	8,262,679
減価償却累計額	△3,935,016	△3,994,603
建物及び構築物(純額)	4,237,973	4,268,075
機械装置及び運搬具	7,356,163	8,253,879
減価償却累計額	△5,720,247	△5,832,328
機械装置及び運搬具(純額)	1,635,915	2,421,551
土地	1,716,136	1,716,136
建設仮勘定	1,089,617	68,588
その他	1,466,608	1,509,175
減価償却累計額	△1,331,800	△1,349,715
その他(純額)	134,807	159,460
有形固定資産合計	8,814,450	8,633,812
無形固定資産	95,622	89,451
投資その他の資産		
投資有価証券	3,351,695	3,413,675
関係会社出資金	352,806	342,385
繰延税金資産	647,766	635,628
その他	232,637	232,812
貸倒引当金	△6,267	△6,117
投資その他の資産合計	4,578,638	4,618,384
固定資産合計	13,488,710	13,341,648
資産合計	44,663,568	41,330,921

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,355,180	2,954,177
電子記録債務	3,856,766	3,379,665
短期借入金	375,000	375,000
未払法人税等	870,122	321,434
賞与引当金	738,260	997,117
役員賞与引当金	72,390	82,980
製品保証引当金	22,370	20,780
その他	2,901,725	1,318,656
流動負債合計	12,191,816	9,449,810
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	475,000	287,500
繰延税金負債	966	636
株式給付引当金	141,255	143,455
役員株式給付引当金	130,250	111,196
退職給付に係る負債	2,080,515	2,103,007
その他	156,791	166,404
固定負債合計	3,584,779	3,412,200
負債合計	15,776,596	12,862,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,416,544	3,416,544
資本剰余金	3,887,594	3,887,594
利益剰余金	21,110,162	20,838,129
自己株式	△413,091	△660,332
株主資本合計	28,001,210	27,481,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	951,646	1,071,098
為替換算調整勘定	△88,620	△110,089
退職給付に係る調整累計額	△100,657	△97,131
その他の包括利益累計額合計	762,367	863,878
非支配株主持分	123,394	123,095
純資産合計	28,886,972	28,468,910
負債純資産合計	44,663,568	41,330,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	9,792,083	8,030,266
売上原価	6,939,902	6,134,263
売上総利益	2,852,180	1,896,002
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	190,426	146,467
製品保証引当金繰入額	400	—
役員報酬及び給料手当	469,973	469,448
賞与引当金繰入額	219,700	133,873
役員賞与引当金繰入額	16,200	10,590
退職給付費用	25,710	26,102
株式給付引当金繰入額	3,309	3,439
役員株式給付引当金繰入額	6,973	7,460
その他	624,766	570,628
販売費及び一般管理費合計	1,557,459	1,368,009
営業利益	1,294,721	527,993
営業外収益		
受取利息	2,292	2,247
受取配当金	18,100	8,889
持分法による投資利益	7,091	—
助成金収入	1,790	46,460
その他	13,016	10,919
営業外収益合計	42,290	68,516
営業外費用		
支払利息	3,101	2,285
持分法による投資損失	—	11,257
為替差損	58,640	23,309
その他	2,832	2,505
営業外費用合計	64,573	39,359
経常利益	1,272,438	557,150
特別利益		
固定資産処分益	18	4
その他	1	—
特別利益合計	19	4
特別損失		
固定資産処分損	1,316	2,110
特別損失合計	1,316	2,110
税金等調整前四半期純利益	1,271,141	555,045
法人税、住民税及び事業税	512,531	275,480
法人税等調整額	△99,860	△43,310
法人税等合計	412,671	232,169
四半期純利益	858,470	322,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	724	2,361
親会社株主に帰属する四半期純利益	857,745	320,513

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	858,470	322,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,126	119,452
為替換算調整勘定	△8,583	△13,259
退職給付に係る調整額	2,280	3,526
持分法適用会社に対する持分相当額	6,639	△8,209
その他の包括利益合計	△1,789	101,510
四半期包括利益	856,680	424,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	855,956	422,024
非支配株主に係る四半期包括利益	724	2,361

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2020年3月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式260,000株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が268,244千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が660,332千円となっております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、従業員への福利厚生を目的として、従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)を適用し、当該指針に従って会計処理を行っております。

① 取引の概要

当社は、従業員に対し個人の貢献度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権の取得をしたときに当該付与ポイントに相当する当社株式を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理しております。

② 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度159,290千円、162,600株、当第1四半期連結会計期間155,274千円、158,500株であります。

(役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、取締役(監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。)、執行役員及び監査等委員である取締役(社外取締役を除く。)(以下、「役員」という。)に対するインセンティブの付与を目的として、役員に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて会計処理を行っております。

① 取引の概要

当社は、役員に対し当該事業年度における報酬月額、業績達成度等に応じて一定のポイントを付与し、役員退任時に累積ポイントに応じた当社株式を給付します。役員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理しております。

② 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度151,820千円、157,300株、当第1四半期連結会計期間134,833千円、139,700株であります。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	建設機械事業	産業機械事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,963,426	1,828,657	9,792,083
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,963,426	1,828,657	9,792,083
セグメント利益	1,347,861	300,619	1,648,481

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,648,481
全社費用(注)	△353,760
四半期連結損益計算書の営業利益	1,294,721

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	建設機械事業	産業機械事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,494,145	1,536,120	8,030,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,494,145	1,536,120	8,030,266
セグメント利益	536,172	227,149	763,322

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	763,322
全社費用(注)	△235,328
四半期連結損益計算書の営業利益	527,993

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。